

東北の夏一夏祭りの夏、3年振りに開催される

東北の夏、それは夏祭りの夏です。夏が短い東北では、夏祭りに1年間のエネルギーが一気に燃え上がります。東北の夏祭りも、コロナ禍で2回中止になりました。しかし、今年各地で、夏祭りが行われました。元々祭りには、疫病を退治する目的もあります。

東北6県ではわらじ祭(福島市)、七夕祭り(仙台市)、さんさ踊り(盛岡市)、ねぶた(青森市)・ねぶた(弘前市)、竿灯祭り(秋田市)、花笠踊り(山形市)が有名です。ほとんどの祭りが、8月上旬に開催されます。

相馬野馬追 誇り高き相馬武士 万感胸にいざ出陣

相馬野馬追は、相馬中村藩の行事です。1千有余年の歴史を経て、相馬地方に今なお息づく伝統の祭りです。相馬氏の祖とされる平将門が、下総国葛飾郡小金ケ原(現在の千葉県流山市付近)に關八州(関東地方の国々)の兵を集めて、野馬を敵と見立てて捕らえる軍事訓練を行い、捕らえた馬を神前に奉納したことに由来します。その後、相馬氏が現在の南相馬市に移り住んだことから、この地で野馬追が行われるようになりました。国指定重要無形民俗文化財です。

野馬追は、3つの神社から騎馬武者が出陣します。相馬中村神社(相馬市)からは北郷と宇多郷の騎馬武者が、相馬太田神社(南相馬市原町区)からは中ノ郷の騎馬武者が、相馬小高神社(南相馬市小高区)からは小高郷と標葉(しねは)郷の騎馬武者が、それぞれ出陣します。今年は帰還困難区域がある標葉郷大熊町からも、6人の騎馬武者が出陣しました。騎馬武者の関係者は、相馬野馬追の2~3日間の為に、1年間かけて準備をします。

3つの神社から出陣した騎馬武者と神官の行列は、旗指し物を風になびかせながら、雲雀ヶ原祭場地(南相馬市原町区)に行列して集合します(お行列)。祭場地では午後から、甲冑競馬と神旗争奪戦が行われました。

東日本大震災と福島第一原発事故—多くの動物が命を落とす

福島第一原発事故で、野馬追の馬はどうなったのかが、気になりました。馬は厩舎にいたと思います。ここで話が飛びます。

福島第一原発事故では、多くの家畜やペット(犬や猫)が避難することができず、犠牲になりました。ほとんどの家畜は、殺処分や自然死です。また、生き残ることができた家畜も、放射能に汚染された草を食べて、内部被爆しました。福島県獣医師会では、会員が帰還困難区域に入って、多くのペットの犬を保護しました。一方、チェルノブイリ原発事故では、36,000頭の牛を避難させました。また、ペット(犬や猫)を連れて避難しました。

【福島第一原発事故で死んだ家畜(推定)】

乳 用 牛	肉 用 牛	豚	鶏
2,300 頭	16,100 頭	53,500 匹	2,171,000 羽



【お行列（南相馬市原町区 雲雀ヶ原祭場地の前）】



【神旗争奪戦（南相馬市原町区 雲雀ヶ原祭場地）】